

タイトル…ゴージャスお宝鑑定家〜

「うくん、ゴージャス！」29

---

## 登場人物

•

剛田…剛田質店の店主。ゴージャスな品物しか鑑定しない。「ゴージャス！」が口癖で、モットーは『ゴージャスたるもの優雅たれ』。

• •

白金… 剛田質店の見習い鑑定士。剛田のテンションに振り回される常識人。

• •

客… ゴージャスなアイテムを持ち込む人々。今回は「金箔まみれのラスク」を持ち込む客。

•

---

## 第一幕.. 開店準備

場所.. 剛田質店の店内。壁には金箔の額縁やクリスタルのシャンデリアが煌めいている。

（白金が掃除をしながら独り言をつぶやいている。背景では豪華すぎる装飾が目に見えるほどに散りばめられている。）

白金…ふう…朝からゴージャスな埃と戦うのも大変だよ。剛田さん、どうしてこんな派手な装飾ばかり集めるんだろう。まるで宝石店か美術館みたいだ。

（奥の部屋から剛田が優雅な足取りで登場。背後には謎のオーラが立ち上っているかのよう。）

剛田…おはよう、白金君。今日も世界はゴージャスに輝いているね！

白金…おはようございます、剛田さん。でもこの店、眩しすぎて目が痛いんです。朝からサングラスが必要なんじゃないですか？

剛田（笑顔で）…ゴージャスにやりすぎなどない！ゴージャスたるもの、常に優雅であるべし！さて、今日はどんなお宝が舞い込んでくるのか楽しみだ。

（剛田が振り返ると、棚に飾られた謎のゴージャスアイテムたちを一つずつ愛でる。白金はため息をつきながら掃除を続ける。）

---

## 第二幕.. 客の登場

（チャイムが鳴り、客が入ってくる。手には金色に輝く箱を持っている。背景にキラキラとした効果音が流れる。）

客（緊張しながら）…こ、こんにちは！  
こちらでお宝の鑑定をお願いしますか？

剛田（優雅にお辞儀）…もちろんでございます。剛田質店へようこそ。さあ、そのお品を見せていただきましょう。

（客が金色の箱を開けると、中には金箔がまぶされたラスクが入っている。カメラがラスクをズームアップし、輝く演出が入る。）

白金…え…これ、ラスク？

剛田（目を輝かせて）…うーん、ゴージャス！なんと素晴らしい輝きだ！金箔のラスクだなんて、これ以上に優雅なお菓子が存在するだろうか？

白金（困惑しながら）…でもこれ、ただの食べ物じゃないんですか？質店で食べ物を鑑定するのは…。

客（得意げに）…これは特別なラスクなんです！世界で10個しか作られていない限定品で、すべて手作業で金箔を貼り付けてあるんですよ。

剛田（感動して）…手作業…その響きもまたゴージャス！

白金…でも、どんなに手が込んでいても、食べ物に10万円とか出す人いるんですか？

剛田（自信満々に）…白金君、ゴージャスの本質は価格に非ず。価値とは、その背景と想いにあるのだよ。

（剛田がラスクに向かい、目を閉じて香りを嗅ぐ。ドラマチックな音楽が流れる。）

剛田…この香り：高貴な金箔とラスクが織り成す芳醇な調和。さあ、試食してみよう。

白金…えっ、試食！？それ、お客様の品ですよ！

（剛田が優雅にラスクの一部を割り取り、口に運ぶ。スローモーションで食べるシーンが映し出される。）

剛田（感動に震えながら）…うーん、ゴージャス！金箔なのに芳醇な味わいだ。このラスクには黄金の魂が宿っている！

白金…ラスクに魂…？剛田さん、ついに何か見えないものが見え始めたんですか？

---

### 第三幕… 鑑定の背景

剛田（客に向き直り）… このラスクの物語をもっと詳しく聞かせてください。どのようにして手に入れられたのですか？

客… 実は… フランスの有名なパティシエが特別に作ったもので、オークションで競り落としました。値段は内緒ですけど。

白金（小声で）…（内緒って、どうせ高いんだろうな…）

（剛田が証明書を手に取り、華麗に開いて読み上げる。）

剛田…素晴らしい！これほどの背景を持つ品であれば、間違いなく価値がある。白金君、この価値を計算してみよう。

白金…計算って…どうやって？ただのラスクと違って、相場なんてないですよ。

剛田…ではこうしよう。ゴージャス度を100点満点で評価し、その点数に応じて価格を決める！

白金…そんな無茶苦茶な基準、誰が納得するんですか！？

---

## 第四幕… 価格交渉

（剛田が大袈裟に考え込み、ドラマチックな音楽が流れる。）

剛田… このラスクのゴージャス度は… 98点！ よって価格は15万円とする！

白金（驚いて）… 15万円！？ たかがラスクにそんな値段つけるんですか！？

客（笑顔で）…ありがとうございます！  
実は、他の店では1万円と言われたんで  
すが、ここに来て正解でした！

白金…（小声で）剛田さん、どうしてこ  
んなに高く買い取るんですか…？

剛田（自信満々に）…白金君、ゴージャ  
スの追求に妥協は禁物だ！

---

第五幕… エンディング

（取引を終えた後、店内に平和が戻る。）

白金…毎回思うんですが、剛田さんの鑑定基準って：ちよつと異次元ですよね。

剛田（笑顔で）…異次元？それこそがゴージャスたるものの証だよ、白金君。

（剛田がラスクを冷凍庫にしまい、満足げに微笑む。）

剛田…こうして保存しておけば、未来に伝えるゴージャスの遺産となる！

白金…食品を冷凍保存して遺産とか言わないでください！

（剛田が冷凍庫からラスクを取り出し、白金に差し出す。）

剛田…白金君、君も味わうべきだ。このゴージャスさを！

白金（渋々一口食べる）…え、えーと…：

（驚いた顔で）う…う…ん、ゴージャス！

剛田（満面の笑みで）…そうだろう！これぞ黄金の味だ！

（カメラが剛田と白金の二人をズームアウト。キラキラのエフェクトが画面全体に広がり、終幕。）

## 尺割構成案

### 第一幕…開店準備（約10分）

- 内容…白金の掃除シーンから剛田の登場。ゴージャスな店内と剛田の大袈裟な動作を描写。
- 会話…ゴージャスへの価値観や白金の常識的なツツコミが中心。
- 目的…店の雰囲気と登場人物の性格を視聴者に理解させる。

---

## 第二幕…客の登場（約15分）

- 内容…客が金箔ラスクを持ち込むシーン。ラスクの見た目や背景をドラマチックに描写。
- 会話…剛田のゴージャスなテンションと白金の困惑。客がラスクの価値を説明。
- 目的…お宝とその背景を視覚的・言語的に面白く表現。

---

### 第三幕.. 鑑定の背景 (約20分)

- 内容.. ラスクの背景を詳しく聞き出し、剛田が独特のゴージャス基準で価値を計算。
- 会話.. 剛田の感動的な独り言、白金の理論的なツツコミ、客の自慢話。
- 目的.. 鑑定プロセスを通じて物語に深みと笑いを加える。

---

#### 第四幕… 価格交渉（約20分）

- 内容… 剛田が大げさに価格を決定し、白金が驚き、客が喜ぶ。
- 会話… ゴージャス度評価の理不尽さに対する白金の反応と剛田の堂々たる弁明。
- 目的… 緊張感と笑いを生むやり取りを演出。

---

## 第五幕.. エンディング (約15分)

- 内容.. 購入後のラスクを冷凍保存しようとする剛田と、それを止めようとする白金のやり取り。
- 剛田がラスクを試食して感動し、白金も試食。
- 二人で「ゴージャス！」と感嘆し、物語の締め。

- 
- 目的… コメディータッチでハッピーエンドにまとめる。

合計時間… 約 80 分 ~ 85 分